

### 第3回 海南省総合計画審議会 議事要旨

日時：令和3年1月21日（木） 午後3時

場所：海南省役所 2階 第4委員会室

#### 1. 議事

(1) 第3次海南省総合計画（素案）について

(2) その他

#### 2. 会議結果

(1) 第3次海南省総合計画（素案）について

(A委員)

18ページ、「海南省の課題整理」の「(3) 心豊かな人を育むまちづくり」で、「学校教育では」という形で説明があり、「また、全ての市民が」というところで、「また、」で済ませるのではなく、社会教育の重要性も必要だと思うので、「社会教育では」という文言を入れられないか。4ページの「教育の充実」も学校教育のことを書いているが、社会教育についての文言も一言付け加えられないか。

(事務局)

担当課と協議、検討する。

(B委員)

「社会教育」という枠でいいのか。それとも「生涯教育」という、もう少し広げた意味合いで言われたのか。

(A委員)

生涯学習ということ自体が社会教育になるので、学校教育という面で捉えているのであれば、社会教育という大きな面で書いていただきたい。

(B委員)

「学校教育」という言葉と「家庭教育」という言葉があって、それが社会教育という枠組みになる。現在の教育の縛りの中では、その上に「生涯学習」が成り立っているのか。

(A委員)

学校教育以外の教育については全部「社会教育」と定められている。社会教育については、0歳から学校教育を除いて、生涯、高齢者についても全部

社会教育というひとくくりになっているので、生涯学習ももちろん、その社会教育の中に入ってくる。

(C委員)

2025年の海南省における75歳以上の割合について教えてほしい。

(事務局)

手持ちの資料では65歳以上になるが、2025年に37.5%になる。

(D委員)

少子高齢化で人口減少というのは、やはり海南省で就職、結婚して家建てて、子どもを産んでもらうことが人口の増加にもつながるし、子どもの教育にもつながってくると思う。海南省に住んでもらうことを考えると、ちょっと土地が高いということもあるし、空き家の有効利用などもあると思う。どの項目にも当てはまることだが、人口をどうやって増やすか。地元の学生をできるだけ採用するとか、何か手だてを考えていかないとよそに出て行く傾向もあると思うので、そこが第一歩ではないか。

(事務局)

結婚促進事業を昨年までは実施していたが、本年度はコロナの影響で事業は実施していない。来年度以降については、結婚したという実績が実際に数字として表れるように取り組んでいきたい。また、海南省で育った若者が出て行かず、海南省内の企業に就職して、海南省がいいと感じてもらう取組等についても、今は小中学校の企業体験や市内在住の方が地元企業に就職された場合の奨学金助成制度という事業も実施している。人口減少は全国的な問題で、増やすのは難しいが、市としてもできるだけ人口減少が緩やかになるよう、皆さんのご意見を頂きながら今後も取組を進めていきたい。

(E委員)

具体的な基本施策でいうと、4-2の児童福祉に子育て支援とか「結婚を希望する人に出会いの機会を創出し、希望の実現を支援します。」という文言がある。実際に委員からご指摘のあった点を実施する事業としては、政策目標4、基本施策4-2「児童福祉の充実」の中の活動として行われるものだと考える。

(事務局)

資料の42ページの施策方針の4つ目に、「地元企業の魅力を積極的に情報発信することで、市内就職やUターン就職を促進するとともに、市内企業との連携により奨学金返還助成などの大学生等への支援を行います。」というこの部分についても、いかに地元の企業に就職してもらうか、また、海南省で新規事業を創業していただくかという部分について記載している。

(F委員)

毎日コロナのニュースばかりだが、5ページの「(4) 安心・安全意識の高まり」の4行目に「新型コロナウイルス感染症の流行により」という言葉

があるが、この1行だけしか記述がないと思う。62ページの3項目目「麻しんや風しん、日本脳炎、インフルエンザなどの感染症」には、新型コロナのことが入っていない。もう少し入れておかないといけないのでは。

(事務局)

コロナについては、63ページの一番上に、「国や県と連携を図りながら、新たな感染症の予防や蔓延防止に取り組みます。」ということで、コロナとは明確に書いていないが、この計画期間中にコロナだけではなく、他の感染症等も発生するかもしれないということで、「新たな感染症」という言葉にしている。

(E委員)

指摘いただいた内容の本質は、今こういう時代になっていて、その時代の変化を柔軟に取り入れた施策にするべきだという趣旨だと思う。その点に関しては、「新たな感染症の予防や蔓延防止」という形で、時代の変化に対応しなければならないことにも目配りをしているので、取組という趣旨は反映されていると思う。

(A委員)

52ページ、基本施策3-3の「現状と課題」の最初と、「施策の方針」の最初に図書館機能のことがあるが、これは文化・芸術のところではなく、3-2の「生涯学習の充実」の項目に入れたほうが適切ではないかと思う。もう一つ、3-2「生涯学習の充実」の「施策の方針」の一番下、「SNSの不適切な使用の防止など、健全育成のため」の部分は、「青少年の健全育成のため」としたほうが良いと思う。

(E委員)

ご意見として、検討いただきたい。

(G委員)

下津の蔵出しに関して、日本遺産になったのでGI、いわゆる地理的表示、国が定めているブランドの制度に「下津みかん」をなぜ申請しないのかと4年くらい前に言ったことがある。その時はデメリットありきの話で、この間、下津で日本遺産のフォーラムがあり、その時も質問すると、県の方もデメリットありきの説明ばかりだった。ところが、そのデメリットというのは、2年ほど前に解消されていると聞いた。40ページに「産地ブランド」とあるが、これを言うのであれば、地理的表示を申請して、それを入れてもらえればと思う。日本遺産に認定され、そのまま置いておくのはもったいない。もう1点、商標登録だが、「下津蔵出しみかん」の商標登録をそろそろ考えないと、どこかに取られると、この名前が使えなくなる。

(事務局)

担当部署と調整する。

(C委員)

48ページ、「現状と課題」に「海南下津高等学校は、令和5年度末で閉校することが決定しています。」とあるが、その後、校舎はどうなるのか。利用するのか、崩してしまうのか、そのことも書いてはどうか。希望になるようなことを書いておいたほうがいいのではないか。

(事務局)

現状、決まっていれば書くことができるが、今後、協議が進んで方策が見えて、事業を実施するに当たっては、計画に随時追加していきたいと考えている。

(E委員)

次回3月17日でも皆さんのご意見を伺うこととし、それまでの間にいろいろ資料をご確認いただき、何かご意見があれば随時ご意見を上げていただければと思う。そのご意見をここでオープンにして、皆さんでいろいろもんでいただくというのが次回までの我々の課題になるので、ぜひご検討いただければと思う。